

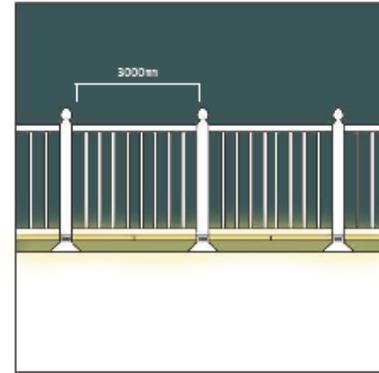
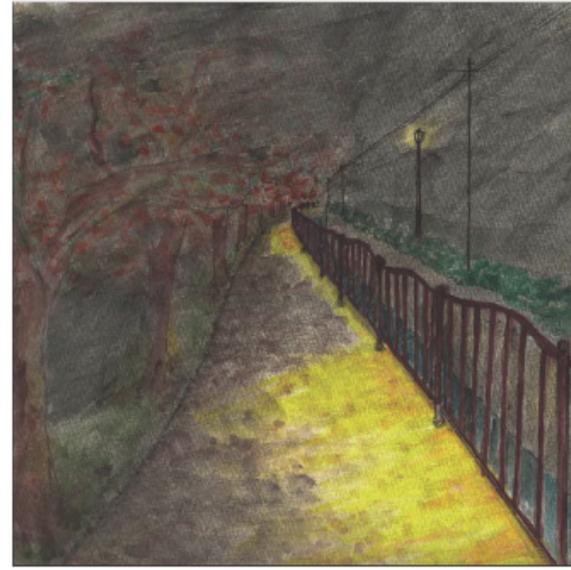
# 最優秀賞

## ひかりと歩む道

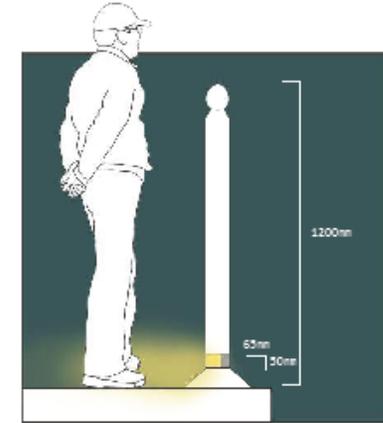
中村 彩乃  
奈良女子大学大学院



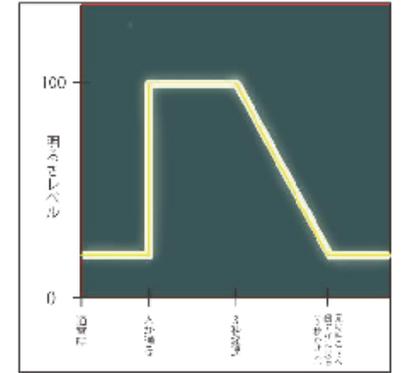
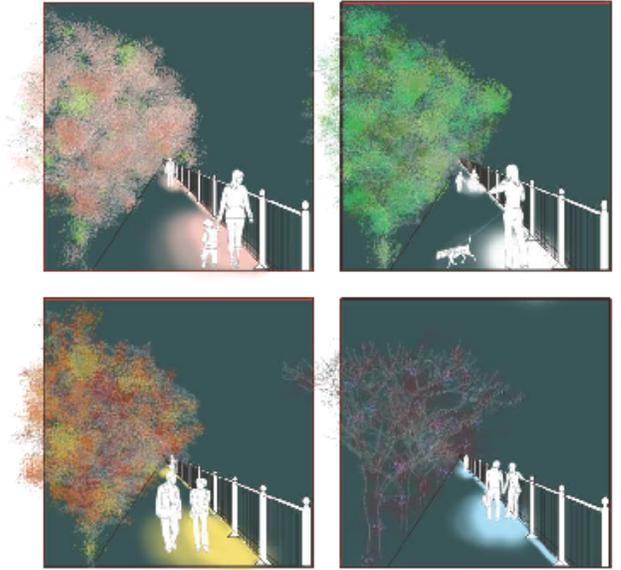
手摺に取り付けられる LED ライン照明。支柱部分に人感センサーを設置し、人が通ると支柱両側のライトが3秒間点灯する。(ひと区間3m、歩く速度…1.0~1.5m/s と想定)



今回は自宅付近の川沿いの歩道を参考にした。支柱と支柱の間(ひと区間)は3mであるため、一つの照明器具の長さを1500mmとし、二つを連結させる。



器具は手摺欄の下部に取り付けることで、風景や人との調和をはかる。また、光る方向を水平方向にすることで、歩道に広がる光を楽しむとともに、足元が明るくなることで小さな段差や障害物にも気づきやすくする。

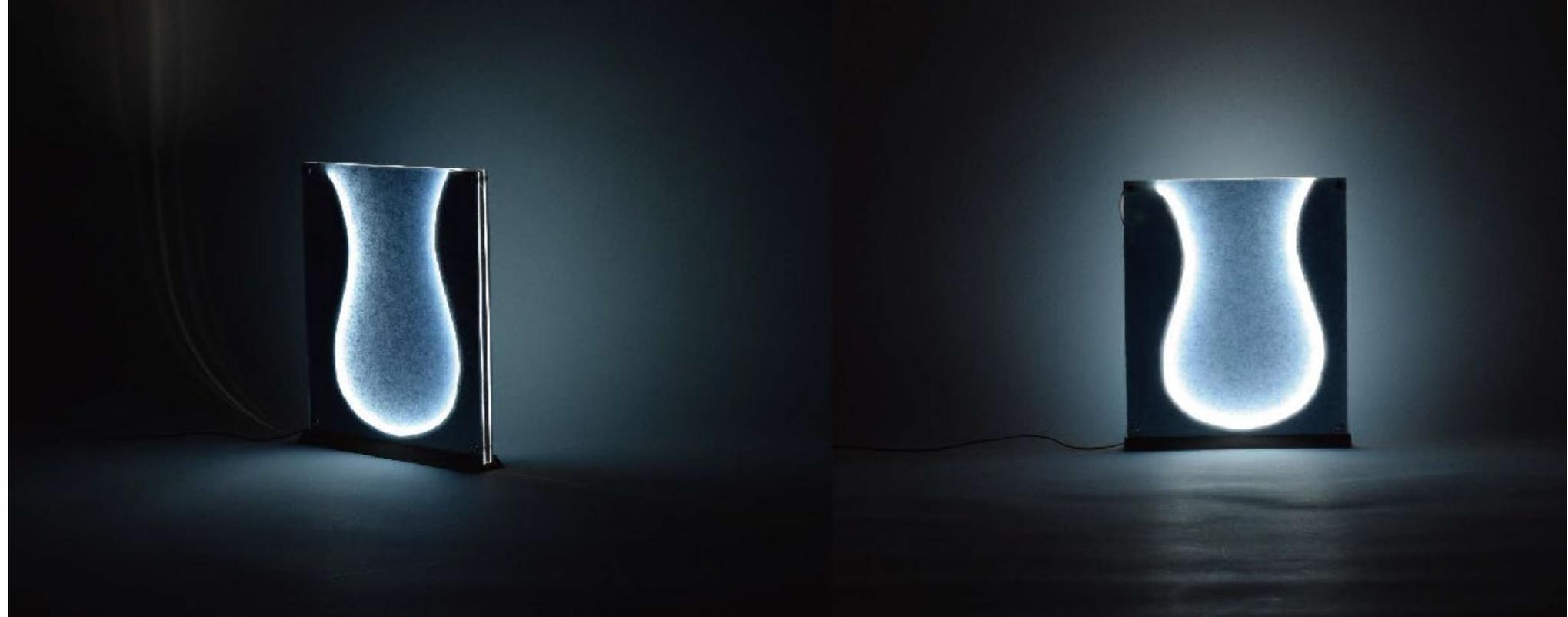


明るさの変化を図に示す。日没後に点灯、通常時は手摺下部が明るい程度。人が通ると明るさ最大になり、歩道の中央辺りまで強く光る。センサー反応がなく3秒経過すると、元の明るさへ3秒かけて戻る。

優秀賞

PONG DANG LIGHT  
(ポーンダーンライト)

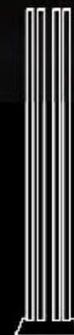
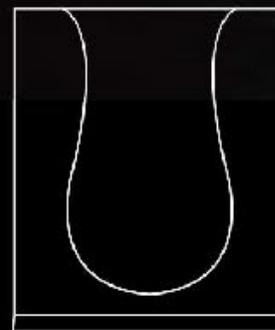
きむ じゅん ひょく  
大阪芸術大学



# PONG DANG LIGHT

自然光の中で池に映った光を 連想させる照明を作った  
和紙を使って東洋的な水に流れを見えるようにした  
名前は英語の池poundと韓国語に 水が落ちる音を  
合わせて付けた

サイズーW280mm X H340mm X D50mm  
素 材ー ティプライト、ワロン、アクリル版



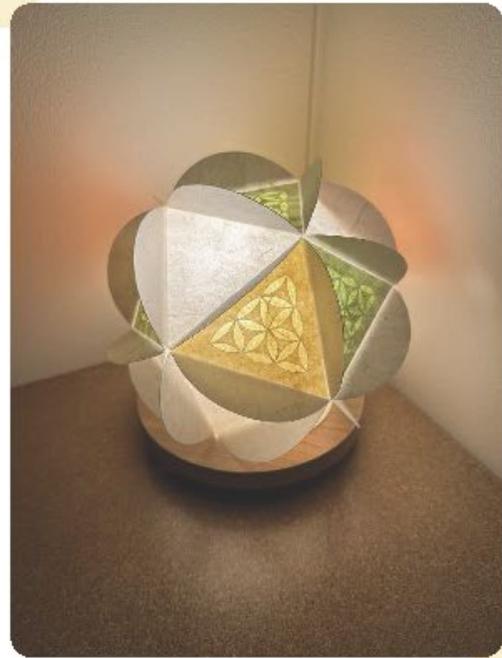
# 優秀賞

Time passes so slowly

具志堅 美輝  
武庫川女子大学

## Time passes so slowly

日本独特の美意識や文化、日本人の心や価値観を表す光



日本は世界的に独特な美しさを持つ国として知られている。  
日本庭園や着物、工芸品などの日本独特のアートとデザインは  
シンプルさと複雑さの絶妙なバランスを持ち、見る人の心を魅了している  
また、四季折々の自然の変化も日本の美しさの一つである。

### 1. シンプルと複雑の調和

日本では簡素なラインやシンプルな色使いが見るものに  
余白や余韻を感じさせ、心に響く美しさを生み出している。  
簡単に見える模様だが描く時は少し複雑である。しかし完成すると  
シンプルであり、美しい。この模様で日本の美意識を表現した

### 2. 自然との調和

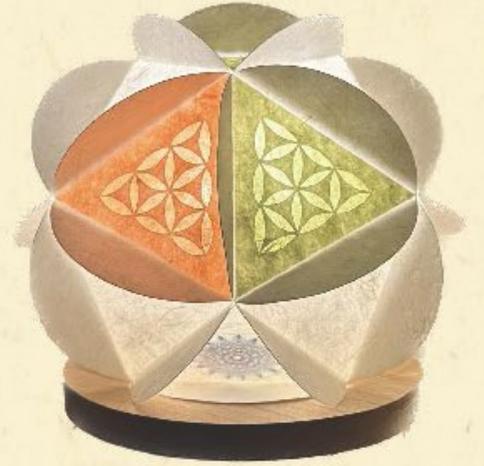
日本は四季折々の美しい風景があり、自然との調和を大切にしている。  
紅葉や緑の葉、太陽などを色付きの和紙を貼り表現した。全てに模様  
や色がついていない余白が調和であり日本の美しさの根源である。

### 3. 静けさと穏やかさ

日本の心や価値観には静かで穏やかな雰囲気を持っている。静けさや  
穏やかさが安らぎや心地よさをもたらし、リラクセスを促進する。  
柔らかい光を通して優雅に照らす暖かい和紙を使用しそれらを表現した。

穏やかな安らぎと暖かな空間

和紙 x 曲線



## How to make

### —材料—

1. 和紙
2. 色付きの和紙(2-3枚)
3. コンパス
4. カッター
5. カッターマット
6. スティックのり  
(テープのり)

1. 和紙を20枚円形に切り  
三角形の形をつける
2. 色付き和紙を1の三角形  
の大きさに切る



3. 7枚の和紙にコンパスを  
使って模様を書く
4. カッターで絵柄を切り取る



5. 絵柄を切った和紙に  
2の三角形を貼る
6. 和紙を貼り合わせて完成



—完成—



# 入選

コウコウ灯  
-助けを求める光×香-

狩野 翔子  
大手前大学

日常



普段使いは、水筒として活用  
→災害に備えて持ち運び可能

ラベンダーの固体  
→練り香水として活用できる



# コウコウ灯

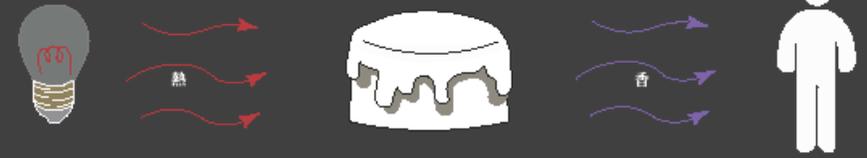
- 助けを求める光 × 香 -

災害時

スイッチ ON  
白熱電球点灯 → 70℃～100℃まで上昇 → ラベンダーの香りがする固体が溶ける → 周囲に香りが届く → 救助

泥の匂いをスッキリとした匂いの強いイングリッシュラベンダーの香りを使用

香り



熱

香

白熱電球の赤色のバルブを使用

- 光色を赤にする -  
・緊急事態を示す  
・より水が光を溜める

光

スイッチ ON 白熱電球点灯  
↓  
水が光を溜めて広範囲に放つ  
↓  
自分の居場所を知らせる  
↓  
救助



南海トラフ地震が30年以内に発生する確率は、70～80%であると言われている。その南海トラフ地震が今起こった場合、瓦礫の下に閉じ込められるなどの身動きが取れなくなった時、あなたはどのような行動を起こせるだろうか。

人間は閉じ込められてから72時間が生死の分かれ目と言われている。72時間という長くても短い制限時間内に、何人の命を助けることができるだろうか。助けてもらうのを待つのではなく、自ら、「存在を主張」することで、救援活動を促進させられるのではないだろうか。この「存在を主張」するために、光と、光源の熱によって発生した香りを利用した。

# 入選

波 -光の正体、物としての姿-

橋本 千菜子  
大手前大学

# 波 -光の正体、物としての姿-

光は、電磁波という波の一種であり、粒子つまり「物」としての性質も持つ不思議な存在。

そんな光のすがたを照明として再現した。

木材で作られている為、木製が多い机や棚その他様々な所に設置でき、

「物」を置くことで照明の電源が入り、光る。

光そのものの存在も忘れない、自分自身の大切な「物」の場所も忘れない。

そんな照明になる事を目指している。

## 材料

- ・木材
- ・LEDテープライト (USBコンセント式)

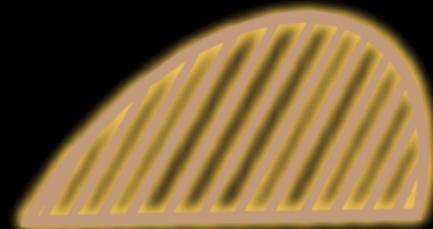
## 光る仕組み

—の部分:LEDテープライト



木材の裏側にテープライトが貼られており木の隙間から温かい光が漏れ出す。

物を置くときテープライトが光り、木の裏から光が漏れる。

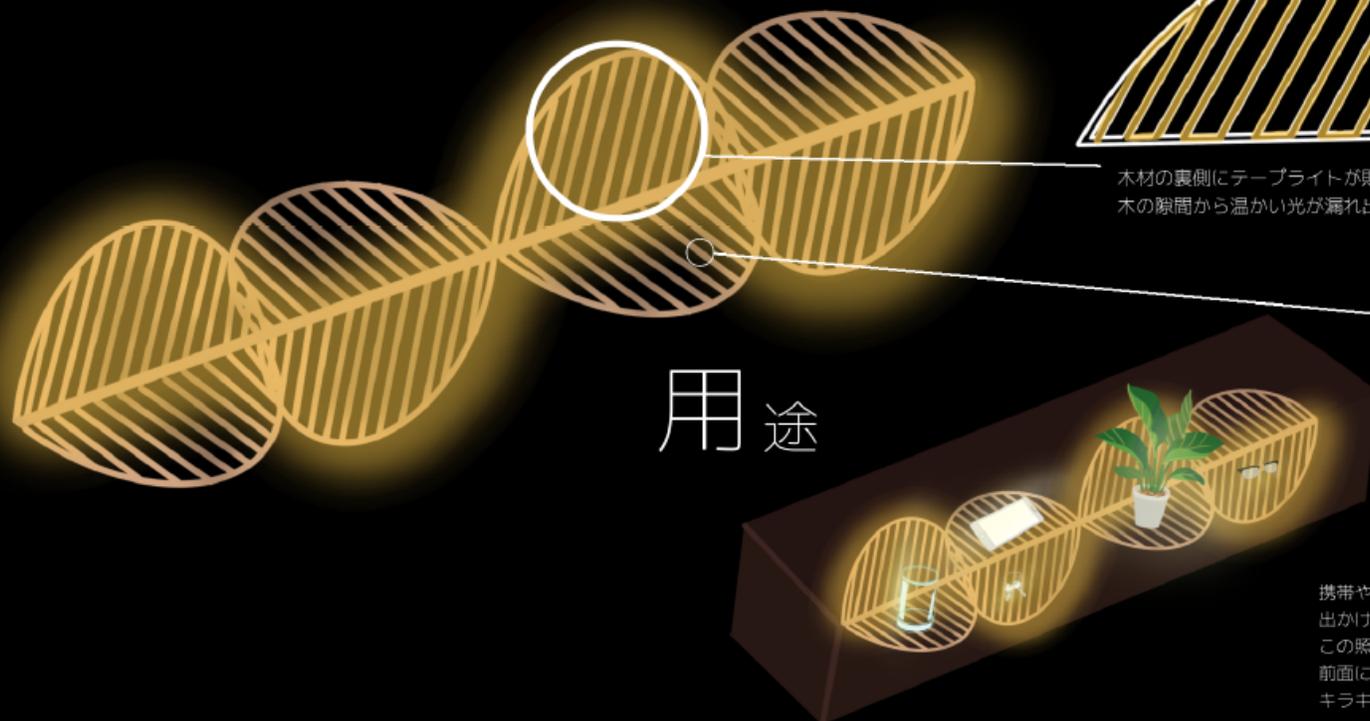


電源ボタン



物を置いたり掛けたり出来る部分の木は二重になっている。間にライトの電源がある為、物を置くとき反応し、対応する部分が光る仕組み。

## 用途



携帯や家の鍵といった生活に必要不可欠で、出かける際に常備する物などをこの照明に置くとき常時光るので忘れにくい。前面にアクセサリをかけると光がアクセサリに反射し、キラキラと光るのでインテリアとしても利用可能。

# 入選

## 癒しのゆらぎ -光の中に自然を見出す-

杉本 晴香  
奈良女子大学

# 癒しのゆらぎ

## -光の中に自然を見出す-

自然の中での光は常にゆらぎの中にある。太陽が雲に隠れれば辺りは暗くなり、風が吹けば木漏れ日が照らす場所が変化する。地平線から昇る太陽によって世界は段々と明るさを増していき、人々に感動を与える。このように自然特有の光が人間の感情に訴えかけるのではないか。

自然光と人工光の違いの一つに時間による光の変動がある。人工光は基本的に時間的変動がなく均質であり、その中に変動を感じることは難しい。

また、バイオフィリアという「人は自然とのつながりを求める本能的欲求がある」という概念がある。つまり自然の中ではストレス軽減が期待されるのだ。

照明の光の中に自然を見出すことによって人を癒すことができる照明を目指した。

落水紙（抄いたばかりの和紙にシャワーで水を当てる事により水滴模様を付けた和紙）



φ150



### シェードの素材：

落水紙のように隙間がある素材を用いて、映し出す光に陰影をつける。シェード外にもれる光は木漏れ日を彷彿とさせ、和紙という自然由来で唯一無二なものは自然らしさを生む。



### 照度の変化：

色温度の低い2つの明かりの照度が、別々にそして緩やかに変化する。カーテンが風にそよんだり日光が薄い雲に遮られたりする際の照度の時間的変動をイメージさせる。



### シェードの回転：

30秒で一回転ほどのゆっくりとした速度で回転させる。シェードが映し出す影が永続的に変化する。



### ランダムな光の変動：

シェードの回転と2つの光源の照度変化の計3つが変動することによって全く同じ光が出現するまでの時間を長くすることにより、ひとつとして同じものはない自然の光に近づける。

照明器具自体が自然の光のような変動を持つことで、自然のゆらぎを室内でも時間や天候に左右されず感じることができる。

# 入選

永花—eika—

松本 真美  
武庫川女子大学



## 永花—eika—

ドライフラワーのようにいつまでも空間を彩る存在に。

私たちは、様々な情報を五感で認識している。そのうち、視覚が占める割合は8割以上だという。

本作品は、ドライフラワーが月日の経過とともに色や表情を  
少しずつ変化させる様子を光で表現した。

このことによって、視覚に働きかけ、  
日常生活の一部として溶け込むような照明を計画した。

### ○照明の色温度の変化

電球色

白色

昼光色



調光できるLEDを使用した。

時間帯によって色温度を変えることで時間の流れを  
感じられる。

### ○他の花と組み合わせる

電球色

白色

昼光色



紫とピンクの花を組み合わせた。

花の組み合わせを変えることで  
新たな表情が生まれる。

### ○material



光を透過するレジンを使用した。  
光沢があり、美しく輝く。

### ○scene



カフェ風インテリアで  
ペンダントライトとして使う。

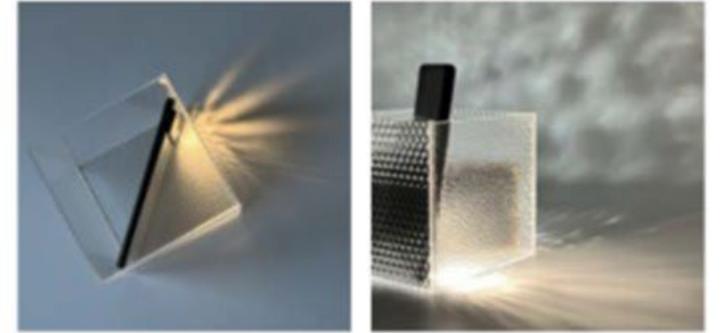
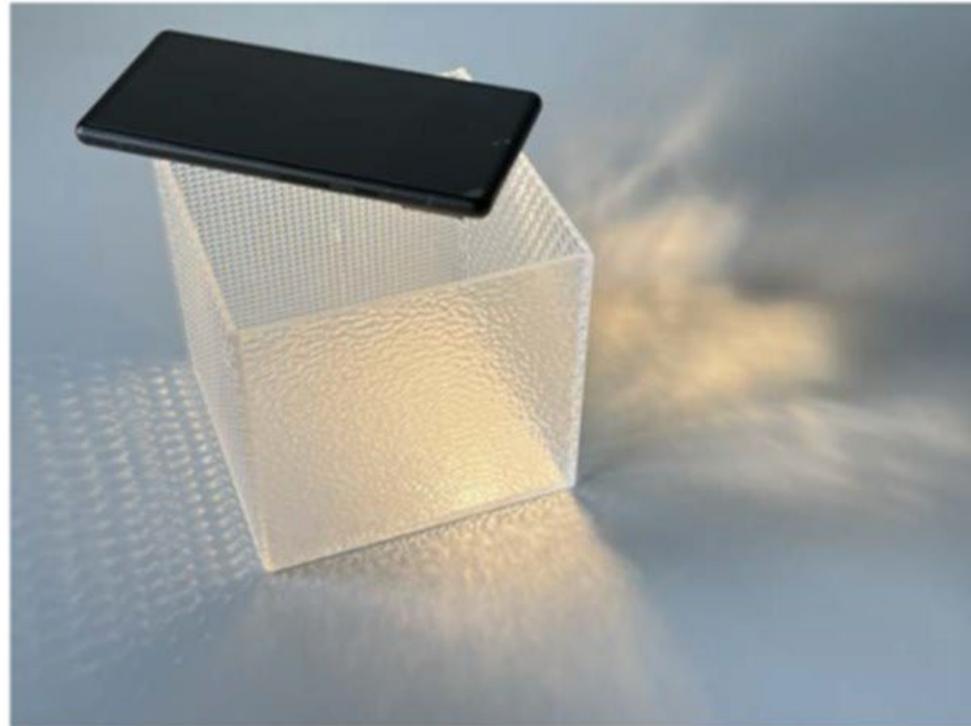
入選

# CUBE LIGHT

CUBE LIGHT

稲垣 里菜、高木 遥  
滋賀県立大学

異なる模様が施されたアクリル板と  
手持ち照明で最も利便性が高いスマホライトの  
組み合わせを提案します。  
アクリル板を通した光は、光源の大きさや位置、  
量によって演出や影が変化します。  
周囲との調和に配慮しながらも主張する光を  
自分で選択し、調節できるこの提案は、  
スマホのライト自体にも新しい可能性を  
見いだします。



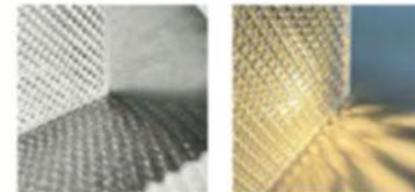
## スマホのライトで作上げる照明

スマホを上に乗せたり、中に入れたり、複数台入れたり  
入れ方、立てかけ方は自由です。  
自分調節して照明を作ります。  
それにより影、光り方が変化します。

3種類の側面



①は2面、②③は1面ずつの計4つの側面で構成されています。  
アクリルの質感の違いにより、光の反射の仕方の違いを楽しむことができます。



サイズ：各辺12cm  
素材：アクリル